



みずほの丘の希望

令和7年2月3日
第15号
生徒数/405名
文責/堀川博基

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

人生でいちばん応援してもらえるのは、 受験の時かもしれない。令和7年度高校等入学者選抜開始

■1月18日(土)、朝方東京へ向かうため埼京線に乗った。私の住まいの最寄り駅は与野本町駅で、そこから乗車する。次の南与野駅が近づくと、車内放送が流れた「次は南与野、南与野。共通テスト会場、埼玉大学の最寄り駅になります。JR 東日本社員一同、受験生のみなさんのご健闘をお祈りいたしております。受験生のみなさんががんばってください」。多分マニュアル外のアナウンスだと思ふ…素敵だ。車掌さんの粋なアナウンスと心遣いに、何となく心が軽くなる。■1月22日(水)朝6:30、東上線の各駅は受験生とともに中学校の先生や塾の先生でごった返す。受験生である教子の緊張を少しでも和らげようとする気持ちと、「がんばれ」という励ましが交錯する。みずほ台駅や鶴瀬駅も例外ではない。本校3学年の先生たちが、生徒を見つける度に声をかけ肩をたたく。…いよいよ私立受験のスタートであり、受験シーズンの本格的開幕だ。■1月21日(火)私立受験日前日、校長室に数名の生徒が訪れた。「校長先生、ひと言書いてください…。それはお手製の「受験お守り」であり、中には友だちからの応援メッセージがビッシリと書き込まれていた。まさしく「受験は団体戦」を実感させる…。■校長室前には、簡易なおみくじどころが設置されている。3年生の気分転換になればと、校長の気まぐれでおみくじセットを置いたものだ…ただ、お遊びにはならないよう正面には、学問の神様菅原道真公を祀る湯島天満宮のお札が置かれている。静けさの中で手を合わせ「みくじ筒」を振る音が響き「おみくじ」を引く。一瞬微笑んで廊下をスキップしながら教室へ戻る…。そんな姿からは、生徒たちの進路選択への思いが滲んで見える。神様も私も応援している…。

もしかすると、「人生でいちばん応援してもらえるのは、受験の時かもしれない…」本当にそう思えないか?3年の受験生諸君…。学校の先生に、塾の講師に、そして駅員さんだって、車掌さんだって、中学校の後輩たちだって、ライバルでもある友だちだって、君たちのことを全力で応援してくれているはずだ…。でも何と言っても、最高に君たちを勇気づけるのは家族において他ならない。勉強がおぼつかず勝手にイライラして当たっても、あたたかく受けとめてくれたのは誰だ。いつも以上にナーバスな君たちに、いつも以上に普通に接してくれたのは誰だ。何気なさを装いつつ、食事や体調管理、ストレスのない日常生活に気を使ってくれたのは誰だ。家族だろ…。だから合格の報告は何をおいても家族に対して一番最初にしてほしい。いや、しなくてはならないと思う…。

家族への、学校の先生への、塾の講師への、お世話になった人々への、そして一緒に戦ってくれている友人たちへの感謝を忘れるようでは、高校受験など何の意味も持たない…と私は思う。

あいさつはコミュニケーション のはじまり…とても大切とは思いますが…

あいさつは重要だ! 西中生は、わかっているものの…

自分はいさつをする習慣が身についている?(令和6年度生徒学校評価から)

1年/80.2% 2年/77.7% 3年/88.3%



上/関小、下/針小でのあいさつ運動です。



■1月27日からの1週間、西中生徒会では関小・針小の児童会とともに西中学校区あいさつ運動を実施した。西からはボランティアを含め延べ100名近くの生徒が参加し、白い息を吐きながら「おはようございます」と寒い朝に元気なあいさつを発してくれた。中学生がしっかりと相手の目を見てあいさつをすると…。やはり小学生もつられながら元気なあいさつを返してくれる。気持ちがつながるさわやかな瞬間だ。さて…西中生に「あいさつ大丈夫?」と聞くと…「あいさつはよくできています。」…と返ってくる。3年生の面接練習でも「西中の誇りは…?」と聞くと「元気なあいさつです。」と返ってくる…。自分たちの行動に誇りと自信を持つのは素晴らしいと思うが…。

■上記数字は、今年度学校評価生徒アンケートの数字だ…質問は「自分はいさつをする習慣が身についている」と自信を持って答えてくれた生徒の割合だ…。学校全体で90%などという数字には全く届かない…。単純な評価は難しいところだとは思いますが、「あいさつに自信」があり、「あいさつはコミュニケーションのはじまり」と理解している西中生の回答としては少々残念に感じるのは私だけであろうか…。西中の朝のあいさつ運動、中央委員の生徒たちがインシアチブをとり毎日実施している。大きな声で元気に声をかけている。顔を見合わせながら笑顔も飛び交う…。ただ、担当した中央委員の生徒からこんな言葉を耳にすることも珍しくない…「みんな、ぜんぜんあいさつを返してくれないから…もっと気合いを入れてあいさつしようぜ…。あいさつの重要性はみんな理解しているはずだ。だったら…心に届くあいさつをしていこう!」



青ジャの「願い」を込めて! 143人のエールとどけ! 受験は団体戦!



頼れるものは…すべてに頼る! おみくじ…運も実力のうち? だと思ふ



合格するま。願をかけるときの目の塗り方…湯島天満宮のだるま屋さんに聞きました。「眼を入れるのは向かって右、だるまさんから見たら左。そして眼の白い部分が見えないように全部黒く塗る。」のだそうです。なぜ、合格するまに眼では塗りつぎすのか、わかりますか? それは、マークシートに由来しているそうです。最近の試験はマークシートでの解答が多く黒くしつかりと塗りつぎすといふと、正解とならぬので、眼(ケン)を引いての白目までの塗りこみだそうです。都市伝説のようなですが、受験生の気持ちもよくわかります。

令和6年度(7年)3月行事予定

日	曜	活動内容
1	土	
2	日	
3	月	公立受検追検査
4	火	学校朝会 3年球技大会
5	水	専門委員会
6	木	県公立高校入学許可候補者発表
7	金	3年生を送る会(1・2年5時間)
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	表彰朝会
12	水	卒業式予行 3年給食最終日 中央委
13	木	3年3時間 1・2年PM卒業式準備
14	金	第46回卒業式
15	土	
16	日	
17	月	1年学級懇談会
18	火	生徒朝会 2年学級懇談会
19	水	4時間授業 1年球技大会
20	木	春分の日
21	金	4時間授業 2年球技大会
22	土	
23	日	
24	月	短縮③ 給食最終日
25	火	短縮③(学年集会、大掃除)
26	水	令和6年度修了式
27	木	学年末休業日
28	金	
28	土	
30	日	
31	月	令和6年度最終日

■3月、3年生はすべて4時間授業、給食、下校の時間割になります。次の生活への準備の時間となりますので、宿題をやったり、予習をしたりと大切に時間を使ってください。

■いよいよ卒業式です。当日は2年生のみ参列、1年生は臨時休校となります。

■1・2年生保護者会は、年度内最後の保護者会となります。⑤授業公開、⑥学級懇談となりますので、積極的にご参加ください。

■公立受検まで、あと16日…。25日(火)には、今ひそかなブームになっている「西中おみくじ」に、ラッキーをたくさん入れておくので…ファイト!

西中正門前道路(西中と関小との間) 大がかりな工事が始まります。片側通行になる予定ですから、十分に注意してください!

西中正門前の市道第5228号線(唐沢公園から藤久保中学校手前くらいまで)が下記により工事に入ります。様々な安全対策は取られるでしょうが、自ら安全に気をつけながら通行するようにしてください。保護者の皆様も十分にご注意ください。

工事の進行具合により日によっては、車両通行止めにもなるようなので、お車での来校には配慮をお願いいたします。

- 記
- 工事内容/舗装修繕工事
 - 工事場所/関沢3丁目市道5228号線
 - 工期/令和7年1月10日~3月14日
施工期間/2月10日~2月21日
 - 施工時間/午前9時~午後5時
 - 交通規制/片側交互通行、車両通行止
ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

部活も、美術も、書写も…みんながんばっています!

■卓球部/富士見市市民スポーツ大会
中学2年女子の部 優勝 第3位
中学1年男子の部 第3位

■男子バレーボール部/昌平杯:優勝

□美術/埼玉県児童生徒美術展
埼玉県特選/
入間地区特選/

入間地区入選/

□書初め/入間東部地区展覧会
特選/

*各学年の生徒が混在しています

優良/

ソフトボール部 令和7年度学校総合体育大会をもって、幕を閉じます(廃部となります…)

上記に示したように、令和7年度学校総合体育大会での敗戦を最後とし、本校ソフトボール部を廃部とすることを決定いたしました。現役部員、保護者の方々、またOGの皆様や開校以来西中ソフトボール部にかかわってこられた方々にとりましては、大変辛いわかりたいと存じます。その理由等について、示させていただきますので、ご確認のほどをよろしくお願いいたします。

- 理由1/部活動として機能していく環境
- 現在ソフトボール部は2年生(令和7年度3年)4名で活動しています。部員たちは創意工夫を重ねつつ活動を続けていますが、試合には9名が必要な競技であり、物理的にチームプレイ等の組織的練習ができない状況にあります。
 - 試合についても、福岡中と合同チームを組んでの出場となりますが、現在福中も1年生3名の部員しかなく、合同チームを組んでも9名揃わない事態にあります。
 - どの部活動も超少子化により、その活動が難しくなっている状況がありますが、特にソフトボールについてはこの入間東部地区(富士見市、ふじみ野市、三芳町/15中学校)において、ソフト部が存続しているのは富士見台中、勝瀬中、福岡中、そして西中の4校のみとなります。
- このような状況を鑑みると、「中学校の部活動としての健全な成長を目指した活動を維持できる環境にはない。」という考えに至りました。

- 理由2/部活動を維持する学校側の環境
- 本校も年々生徒数減少が進んでいます。令和7年度においても市の施策による部活動等による区域外就学等が認められなければ、学級減になる状況です。
 - もし1学級減という状況になれば、教員定数が1名減り、本校では加配で職員を配置していただいているので、一番厳しくなる場合プラス2名、計3名の職員減という可能性も生じてきます。
 - 現在14部活を23名の職員で担当していますが、万が一、一番厳しい条件となれば、14の部活を20名の職員で運営しなくてはならなくなります…。
- このような課題が職員への負担、強いては生徒へ及ぼす影響も甚大であると考え、策を取らなくてはいけないと考えました。

■上記理由を鑑み「廃部案」を思考しました。本校には「部活動廃部規程」があり、そこには、「基準を下回った部活については、次年度の新入生をもって基準人数を上回らない場合は廃部とする」とあります。しかしながら、附則が示されており「国、県、市の状況、学校事情の変化により変更される場合がある」とあります。今回は現状、次年度の可能性、長期的視点で見た現実的な学校運営等を鑑み、この附則を校長判断で適用させていただきます。

1月25日(土)、現部員、その保護者全員に来校してもらい、この旨を相談させていただきました。みなさん冷静にこの現状を理解してくれました。もちろん本意ではない事もあるとは思いますが、目を潤ませながらソフト部の思い出を語る姿もありました。部員からは「来年、10人位の新入生が入ってくれば自分たちで練習できるけれど、5人位入って存続しても、私たちが抜けてしまえば、教えてくれる先輩もいない辛い状況が繰り返される…であれば…」という当事者にしかわからない気持ちの吐露もありました。部員や保護者の方々からは、苦渋の選択ではあるのだけれど、「廃部も仕方がない」というご理解をいただきました。1月31日、OGとなる3年生の部員に説明しました。驚きの表情を見せながらも現状を理解し「2年生が決めたのなら、それを尊重します」という考えに8名のOGがうなずいてくれた。部員たちの思慮深い思いに感謝しかありません。このような過程を経て、「西中学校ソフトボール部を、令和7年度学校総合体育大会で敗戦した時点で廃部とすること」を決定しました。

開校以来活動を続けている部活です。本来であれば、すべてのOGや保護者、今までの活動に携わっていただいた関係の皆様にご相談しなくてはならないのですが、現部員の気持ちを中心に判断させていただきました。このように書面でのお知らせとなり申し訳ございません。今後、新入生に「令和7年度の募集停止」を周知し、残り少ない4人の活動の日々を学校全体で全力で支援して参ります。

■本件に対するお問い合わせがございましたら、西中/堀川までお願いいたします。